

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2009-531724(P2009-531724A)

【公表日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-035

【出願番号】特願2009-501862(P2009-501862)

【国際特許分類】

G 10 L 19/00 (2006.01)

G 10 L 19/02 (2006.01)

H 04 S 5/02 (2006.01)

H 04 S 3/00 (2006.01)

【F I】

G 10 L 19/00 213

G 10 L 19/00 330B

G 10 L 19/00 400Z

G 10 L 19/02 150

G 10 L 19/02 180Z

H 04 S 5/02 A

H 04 S 3/00 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年10月24日(2011.10.24)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

複数の元のチャネルをダウンミックスすることにより導出された少なくとも1つのダウンミックスチャネル(38；68)と、元のチャネルの時間的構造に関する情報を含むパラメータ表現(40；72)とを用いて、再構成出力チャネル(50；76)を生成するためのマルチチャネル再構成装置(30；60)であって、

前記ダウンミックスチャネル(38；68)に基づいて、前記再構成出力チャネル(50；76)のための直接信号成分(42；64)と拡散信号成分(44；66)とを生成する生成手段(32；62)であって、前記直接信号成分は前記ダウンミックスチャネルからデコリレートされずに導出されたものであり、前記拡散信号成分は前記ダウンミックスチャネルからデコリレーションにより導出されたものである、生成手段と、

前記拡散信号成分は修正せずに、前記パラメータ表現(40；72)の元のチャネルの時間的構造に関する情報を用いて前記直接信号成分(42；64)を修正するための直接信号修正手段(34；69)と、

前記修正された直接信号成分(46)と前記拡散信号成分(44；66)とを結合して前記再構成出力チャネル(50；76)を得るための結合手段(36；74)と、を備えるマルチチャネル再構成装置。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項28

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2 8】

複数の元のチャネルをダウンミックスすることにより導出された少なくとも1つのダウンミックスチャネル(38;68)と、元のチャネルの時間的構造に関する情報を含むパラメータ表現(40;72)とを用いて、再構成出力チャネル(50;76)を生成するための方法であって、

前記ダウンミックスチャネル(38;68)に基づいて、前記再構成出力チャネル(50;76)のための直接信号成分と拡散信号成分とを生成するステップであって、前記直接信号成分は前記ダウンミックスチャネルからデコリレートされずに導出されたものであり、前記拡散信号成分は前記ダウンミックスチャネルからデコリレーションにより導出されたものである、ステップと、

前記拡散信号成分は修正せずに、前記パラメータ表現(40;72)の元のチャネルの時間的構造に関する情報を用いて前記直接信号成分を修正するステップと、

前記修正された直接信号成分(46)と前記拡散信号成分(44;66)とを結合して前記再構成出力チャネル(50;76)を得るステップと、を備える方法。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 3 0】

コンピュータに請求項 2 8 に記載の方法を実行させるためのプログラムコードを有するコンピュータプログラム。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 8】

伝送されたダウンミックスチャネル 38 から残響(デコリレーション)のない状態で導出された直接信号成分 42 を修正するだけで、従来技術の場合のように追加的なアーチファクト及び可聴歪みを導入することなく、潜在的な元のチャネルの時間エンベロープに密接に合致するような再構成出力チャネルの時間エンベロープを再構成することが可能になる。